

## 1. 授業の概要(ねらい)

18世紀から現代まで、イギリスの文学がどのように発展していったのかを歴史的、社会的、政治学コンテキストの中で学び、実際に作品に触れることで英語という言語や文学ジャンルの変遷について理解を深める。

## 2. 授業の到達目標

- (1) イギリス文学の歴史を概観し、その特質を理解する。
- (2) 実際にいくつかの作品に触れる機会をもつことで、文学に対する造詣を深める。
- (3) 英語圏の文化についての専門知識を学び、歴史、人間、社会、文化を深く理解する。

## 3. 成績評価の方法および基準

平常点(確認テスト(80%)、リアクションペーパー、提出課題等(20%))により評価

## 4. 教科書・参考文献

教科書

川崎寿彦 『イギリス文学史』 成美堂

参考文献

中村邦生 『楽しく読める イギリス文学』 ミネルヴァ書房

## 5. 準備学修の内容

事前にテキストの内容に目を通して授業に臨んで下さい。配布された文学作品のプリント等は必ず読み、場合によっては自分の意見をまとめておくこと。

## 6. その他履修上の注意事項

単位取得には到達度を測るための課題の提出や確認テストの受験等が不可欠です。また原則として授業時間数の3分の2以上に出席していなければ、単位を修得することはできません。

## 7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス:授業の内容、授業の進め方、評価方法など
- 【第2回】 18世紀の散文・詩・劇
- 【第3回】 ジャーナリズムと小説の誕生
- 【第4回】 小説の成長と発展
- 【第5回】 ロマン主義時代前半
- 【第6回】 ロマン主義時代後半
- 【第7回】 18世紀・ロマン派のReview Test
- 【第8回】 ヴィクトリア朝の詩と散文
- 【第9回】 ヴィクトリア朝の小説前半
- 【第10回】 ヴィクトリア朝の小説後半
- 【第11回】 第2次世界大戦までの小説前半
- 【第12回】 第2次世界大戦までの小説後半
- 【第13回】 第2次世界大戦までの詩と劇
- 【第14回】 戦後の文学
- 【第15回】 ヴィクトリア朝以降Review Test 秋学期のまとめと確認